

将来を見据えた上田のまちづくりに向けて、職員一人ひとりが幸せ創造仕掛人となり施策を推進してまいります

上田市誕生20周年記念

令和7年度は、新市誕生から20周年という節目を迎えます。記念すべき20周年を迎えるに当たり、8月1日から令和8年7月31日までを「上田市誕生20周年記念事業」の実施期間とし、市が開催する事業を計画するとともに、市民の皆さまが主体となり実施する事業への冠付与についても募集を呼びかけております。大勢の皆さまとこの節目を祝い、市政の一層の飛躍を目指してまいります。

すべての説明会終了後には、地元自治会・関係団体で構成される資源循環型施設建設対策連絡会へ施設建設に係る基本的な協定の締結をお願いする予定です。

地域の皆さまには、引き続き具体的な御協議をいただきますが、御理解と御協力をお願い申し上げます。

生ごみ減量・再資源化に向けて

昨年開催した市民説明会において多くの御意見などを頂戴し、ごみの減量・再資源化の必要性について御理解をいただくためには、さらなる周知が必要であると感じるところであります。

可燃ごみに含まれる生ごみの割合も減少傾向にあることから、有機物リサイクル施設について、規模や事業費などの精査を行ってまいります。

上下水道事業への取組

市が目指す「循環型社会の形成」に向けて、御理解・御協力が得られますよう丁寧に事業を進めてまいります。

これからの水道を守り、安全・安心な水道水を将来にわたり安定的に供給するために、水道事業の広域化は有効な手段と捉えておりますが、12月に開催しました市民説明会では、十分な説明と議論が必要ではないかとの御意見も多くいただいたところであります。地域にふさわしい水道事業のあり方を市民の皆さまと一緒に考え、将来の水道事業の方向性を示せるよう取り組んでまいります。

一方、下水道事業では、老朽化が進む下水道施設の効率的かつ計画的な更新を図るため策定した第2次ストックマネジメント計画に基づき、南部終末処理場の水処理



設備や電気設備、脱水設備などの更新工事を予定しております。また、令和6年能登半島地震をきっかけに策定した上下水道耐震化計画に基づき、処理場や管渠施設の耐震化を計画的に進めてまいります。

第三次上田市総合計画策定に向けて

昨年6月に上田市総合計画審議会に諮問し、審議会委員の皆さまに御議論をいただき、併せて、郵送やウェブを通じたアンケートの

ほか公共施設に設置したパネルによる意見募集やワークショップの開催など、多くの市民の皆さまの声をお聞きすることができました。

審議会でご審議いただいた総合計画(案)について、2月に本計画の骨格となる中間答申をいただいたところであります。3月にパブリックコメントを実施し、9月市議会定例会での議案上程を目指して、策定を進めてまいります。

第二次上田市総合計画後期まちづくり計画6つの施策大綱

自治・協働・行政

市民が主役のまちづくり

今年(令和8年)、上田市が非核平和都市宣言を行ってから15周年の節目の年であります。市では、平和への想いの象徴となる「平和の灯(トーチ)」の設置を主要な事業と位置付け、モニメントの設置などに係る予算案を計上いたしました。

広島・長崎を訪問し、それぞれの平和の灯の火を分けていただき

自然・生活環境

安全・安心な快適環境のまちづくり

モニメントに灯すとともに、中学生を中心とした訪問団による広島での平和学習などを実施し、次世代を担う子どもたちへ平和のバトンを渡す意思を示すための取組を進め、平和文化を発信してまいります。

公共交通事業者との協働(共創)により、定期的な会社説明会など運転手確保の取組に加え、令和7年度から新たに地域公共交通利便増進事業として、路線バスの再編・増便や一定間隔で運行するパターンダイヤ化を実施するとともに、上田電鉄別所線の増便に取り組みてまいります。

また、市とバス事業者の間で5年間の運行協定を締結し、従来の補助などでは不足していた運行費用を支援



すること、路線バスの確保・維持を図ります。包括的な取組により、誰もが安心して利用で

産業・経済

誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり

農業分野では、農業者の高齢化や後継者不足などの課題がある中、持続可能な地域農業の確立、農村環境の維持保全が求められております。

こうした中、10年後の地域農業の在り方を示す「地域計画」について、関係する皆さまとの話し合いを進めた結果、3月末に全地域の計画を策定し、公表する予定であります。計画策定後も、農地の集約集積や適地適作の推進など、継続的に協議を行ってまいります。

加えて、原油・原材料などの価格高騰により影響を受ける農業者支援として、国の交付金事業を活用し、肥料代など農業生産資材経費の一部について補助してまいります。

健康・福祉

ともに支え合い健やかに暮らせるまちづくり

国が、带状疱疹ワクチンを予防接種法に基づくB類疾病に位置

教育

生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり

教育を巡るさまざまな課題がある中、喫緊の課題として、「中学校部活動の地域クラブ活動への展開」が伺えます。地域において、子どもたちが生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境整備につながる一方、活動場所や指導者の確保、移動手段、持続可能な活動とするための負担のあり方など、地域展開に向けて解決しなければならぬ項目も多い

ため、教育委員会、市長部局が連携し、速やかに関係各所との調整

文化・交流・連携

文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり

市では、スポーツ都市宣言を制定し、スポーツの力で一人ひとりの生活や心がより豊かになることを目指してまいります。このような中、上田市サッカー協会ほか地元自治会から要望がありました、上田古戦場公園に人工芝サッカーグラウンドを整備するための関連予算案を計上いたしました。

都市交流について、中華人民共和国寧波市においては、友好交流都市提携の締結30周年にあたることから、記念式典、相互訪問などの記念事業を予定しております。

3月市議会定例会初日に提案した議案の概要

- 条例案(16件)
 - 上田市印鑑登録及び証明に関する条例中一部改正 ほか
- 令和6年度補正予算(5件)
 - 一般会計2件、企業会計3件
- 令和7年度当初予算(10件)
 - 一般会計1件、特別会計6件、企業会計3件
- 事件決議案(7件)
 - 第五中学校改築事業旧校舎棟ほか解体工事請負契約の締結について ほか

施政方針はインターネットで動画や全文をご覧いただけます。

